

浜寺杯男子シングルスカル タイムトライアルレース競漕方法

1. 趣旨（背景）

（1）2022年 関西選手権競漕大会（予選）においてレース進行の遅れが挽回できなかったため、暑さ対策も兼ね、距離を1500mに変更した。レースの遅れの要因の一つとして、一部のクルーが漕了に時間がかかりすぎ、スケジュール通りに進行できない状況があげられる。

その反省から、関西選手権男子シングルスカルに参加条件にエルゴタイムの目安を設定した。

（2）しかしながら、関西で数少ない2000mレースの機会を確保することも重要と考え、浜寺杯に男子シングルスカルを新設し、多くのクルーが出場できる機会は確保することとした。

（3）一方、大会期間2日間のレース数は限界に近く、種目の増加に伴うこれ以上の期間延長は極力避けたい。そこで漕了に時間がかかるクルーが多くのレースに分散することを避け、またより白熱したレース展開とするためにタイムトライアルレース（7/1）を導入し、その結果に基づき翌日7/2（日）に順位決定レースを行う。

2. 競漕方法

- ・約1900mのタイムトライアルレースとする。浜寺コース100m～2000mで実施する。
- ・発艇順序は申込時記載のエルゴタイムを基に競漕委員会で決定し、事前にHPに掲載する。
- ・レースは7/1（土）8時よりスタートする。スタート間隔は2分とする。
- ・2艇ずつ発艇する。①第1レース：2と4レーン、②第2レース：3と5レーン、③第3レース：2と4レーン、・・・という順のレーンを使用する。安全のため1,6レーンはあけておく。
- ・タイム測定ライン（約100m付近）後方のおおむね20m（約80m付近）以内で発艇準備を行い待機する。発艇時間になれば審判より「スタートしてください」とアナウンスするので、10秒以内にスタートすること。アナウンスより前にスタートしないこと。
- ・スタート後、トライアル中に転覆した場合は速やかにコース上から退避すること。この場合、最下位グループで2000mの順位決定レースに出場できる。
- ・レース中、主審艇の追尾は行わない。各自レーンキープに努めること。マーシャルからの監視は行う。
- ・レース中、他のクルーを侵害した場合は、侵害されたクルーとともにフィニッシュしたタイムで2000m順位決定レースに出場できる。ただし、著しく侵害した状況が確認できた場合は競漕委員会で協議し、侵害されたクルーの再レース、もしくは侵害したクルーは最下位グループでの出場とすることがある。
- ・フィニッシュライン通過時の合図は行う。フィニッシュ後はすみやかに帰艇すること。航行ルールは大会期間中のルールと同様とする。
- ・棄権したクルーは2000m順位決定レースに出場できない。

以上